

令和7年度千葉市一般会計・特別会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見の概要

一般会計・特別会計歳入歳出決算

審 査 の 結 果 [意見書P. 5]

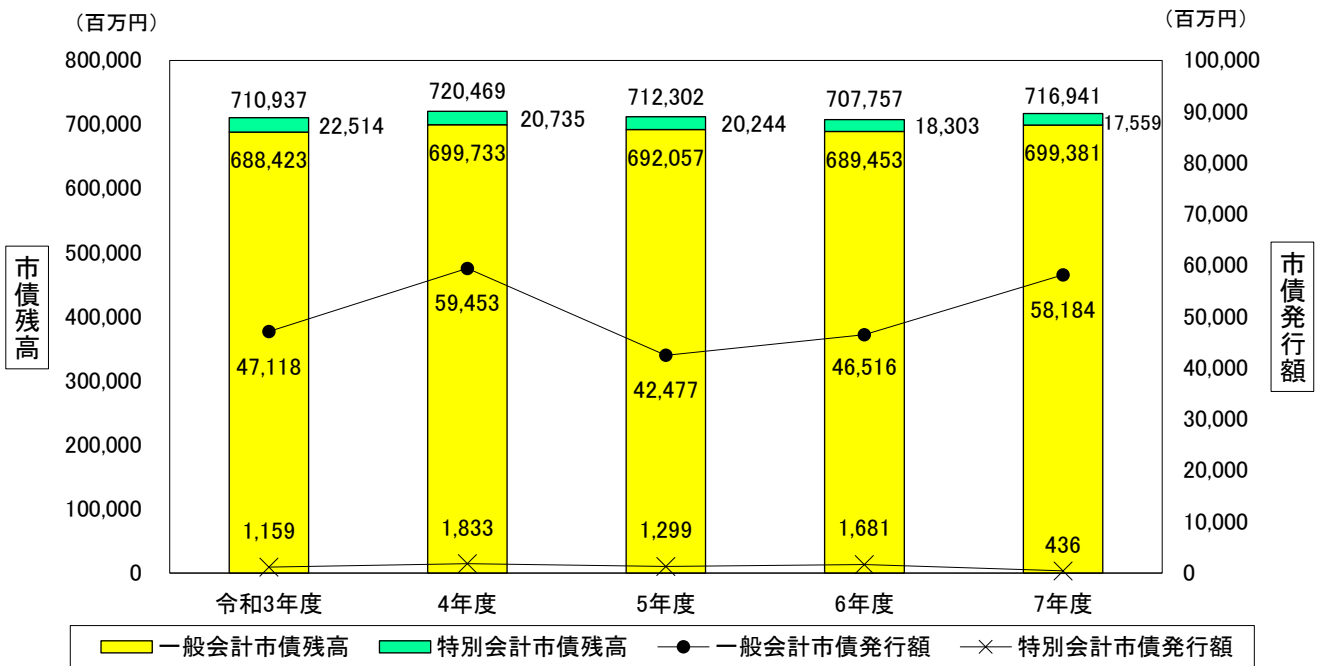
各会計の歳入歳出決算及び政令で定める書類は、重要な点において、法令に適合し、かつ正確であると認められた。

審 査 に お け る 意 見 [意見書P. 25—26]

1 意見

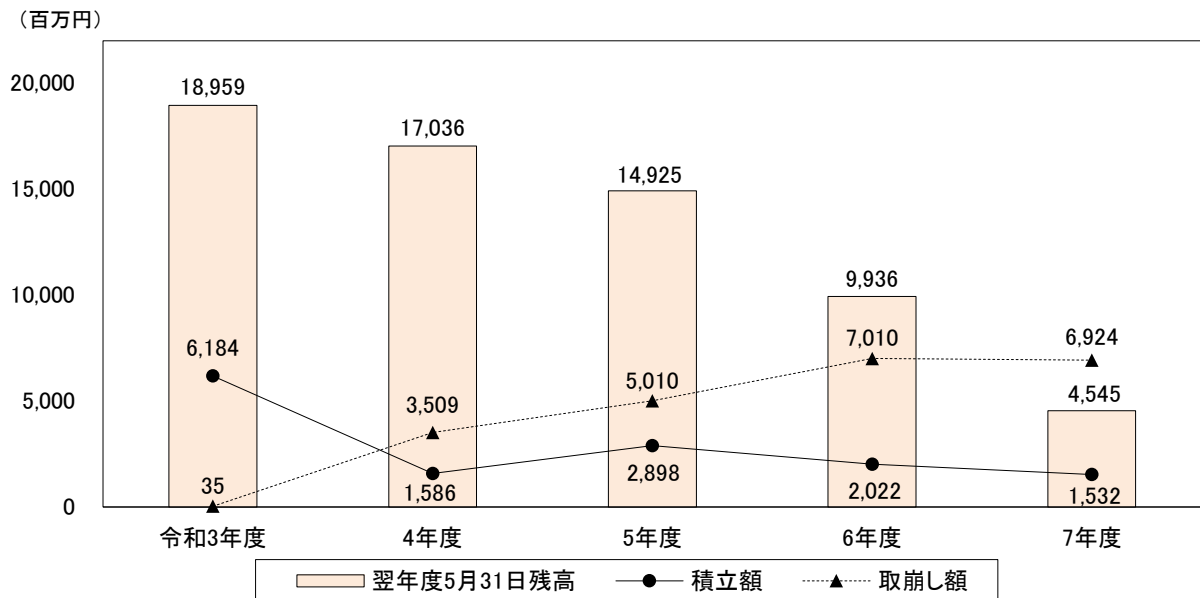
- (1) 令和7年度決算は、新清掃工場や新設小学校の整備に加え、児童手当の拡充等により、一般会計の規模は前年度を上回り、過去2番目となった。
- (2) 一般会計では市税収入が過去最大となり、効率的な予算執行に努めた結果、約25億円の実質収支を確保したものの、財政調整基金69億円の取り崩し等の結果生じたものであり、同基金の出納閉鎖期日（5月31日）現在の残高も、前年度に比べ54億円減少の45億円となるなど、財政運営は一層厳しさを増していることがうかがえる。
- (3) 市税については、近年、調定額は増傾向であるものの、徴収率は伸び悩んでいる。今年度決算では、上昇に転じ、債権管理対策実施計画における目標を達成したことは評価するものの、他の政令市に比べると低い水準にある。市税収入は歳入の根幹であり、安定した財源確保の観点からも、市税徴収率の向上に向け、一層の工夫と努力を重ねられたい。
- (4) 市債については、新清掃工場等の整備により3年ぶりに増加に転じた。第2期中期財政運営方針（令和8年度～10年度）（以下「第2期方針」という。）とともに示された将来推計によれば、今後も多くの公共施設の更新や老朽化対策により、令和18年度の全会計の市債残高（臨時財政対策債を除く）は令和7年度の市債残高の1.4倍程度になり、実質公債費比率や将来負担比率も上昇することが見込まれるとされている。第2期方針では、両比率を令和2年度と同水準で維持することを目指すとしているが、国庫補助金や地方交付税に算入される地方債を活用することで、市債発行額や実質的な負担を抑え、将来世代の負担軽減を図られることを要望する。
- (5) 基金については、中期財政運営方針（令和4年度～令和7年度）で掲げた借入金返済額60億円を5億円下回った。厳しい財政状況であっても、基金本来の目的の達成に支障をきたすことがないよう、第2期方針期間内では、計画に沿った返済を着実にを行うことを要望する。
- (6) 令和8年度に見直された公共施設等総合管理計画（令和2年度～令和11年度）については、従来想定していた目標使用年数を超え可能な限りの長寿命化により維持更新費用の縮減を図るとともに、施設の再配置や総量の縮減といった取組も進めていくとのことである。近年、建設コストとともに金利も上昇しており、市債の借入に伴う支払利息の負担も増加している。今後、人口減少と将来世代の負担を鑑みれば、施設の再配置や総量の縮減を図る重要性が増している。これらの取組は、市民の理解も欠かせないことから、中長期的な人口や財政等の見込みを丁寧に説明し、全ての世代の方が今後のまちづくりを我が事と捉え、ともに考え、関わっていく機会を創出すること等で、着実に進められることを期待する。

市債発行額及び残高の推移

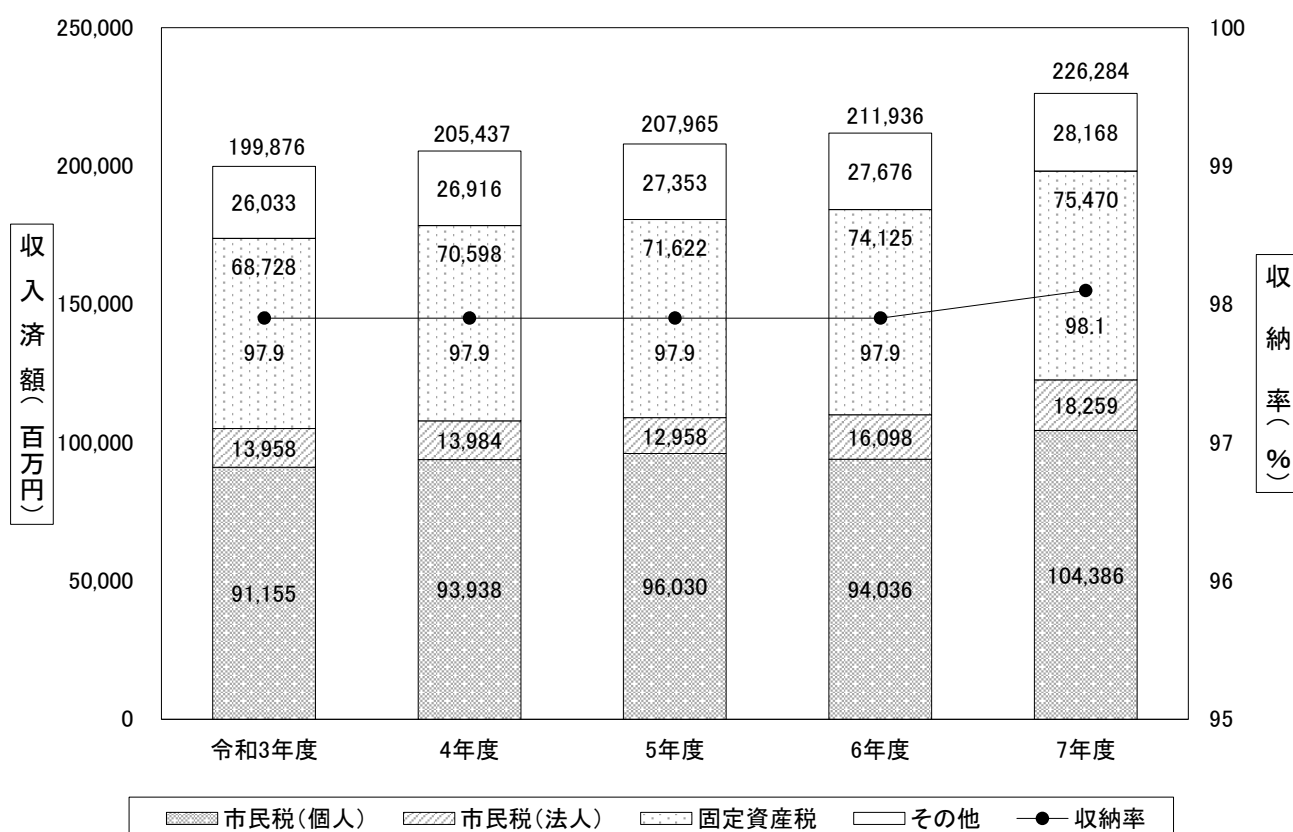


※ 市債発行額に借換債は含まない。

財政調整基金残高の推移（5月31日現在）



市税収入済額及び収納率の推移



2 むすび

- (1) 今後の財政運営については、基本計画で目指す「みんなが輝く都市と自然が織りなす・千葉市」の実現に向けて、第2次実施計画で推進する事業に加え、少子高齢化への対応等多くの財政需要が見込まれていることから、税等の徴収対策、産業育成による税源の涵(かん)養など歳入確保の取組並びに事務事業や公共サービスの効率化・集約化及び公共施設マネジメントの推進等による歳出抑制の取組の重要性が増している。
- (2) 将来にわたり、持続可能な財政構造を確立するには、「事業の見える化」とともに、職員一人ひとりが、将来世代に責任を有した持続可能な行財政運営を担うという自覚の下、行動していく必要がある。市民目線で担当業務を点検し、サービスデザイン思考による事業見直しや政策立案を推進する中で、ナッジやデジタル技術を活用するほか、多様な主体との共創を進めることが求められる。このような取組の推進とともに、職員の積極的な行動を生み育む組織運営を期待する。
- (3) 最後に、将来負担と均衡を図った計画的な未来への投資を行うことで、持続的発展に向けたまちづくりを着実に推進することを要望する。

基金運用状況（対象：美術品等取得基金）

審査の結果 [意見書P. 63]

重要な点において、運用状況報告書の計数は、正確であり、また、基金の運用が確実に行われていると認められた。